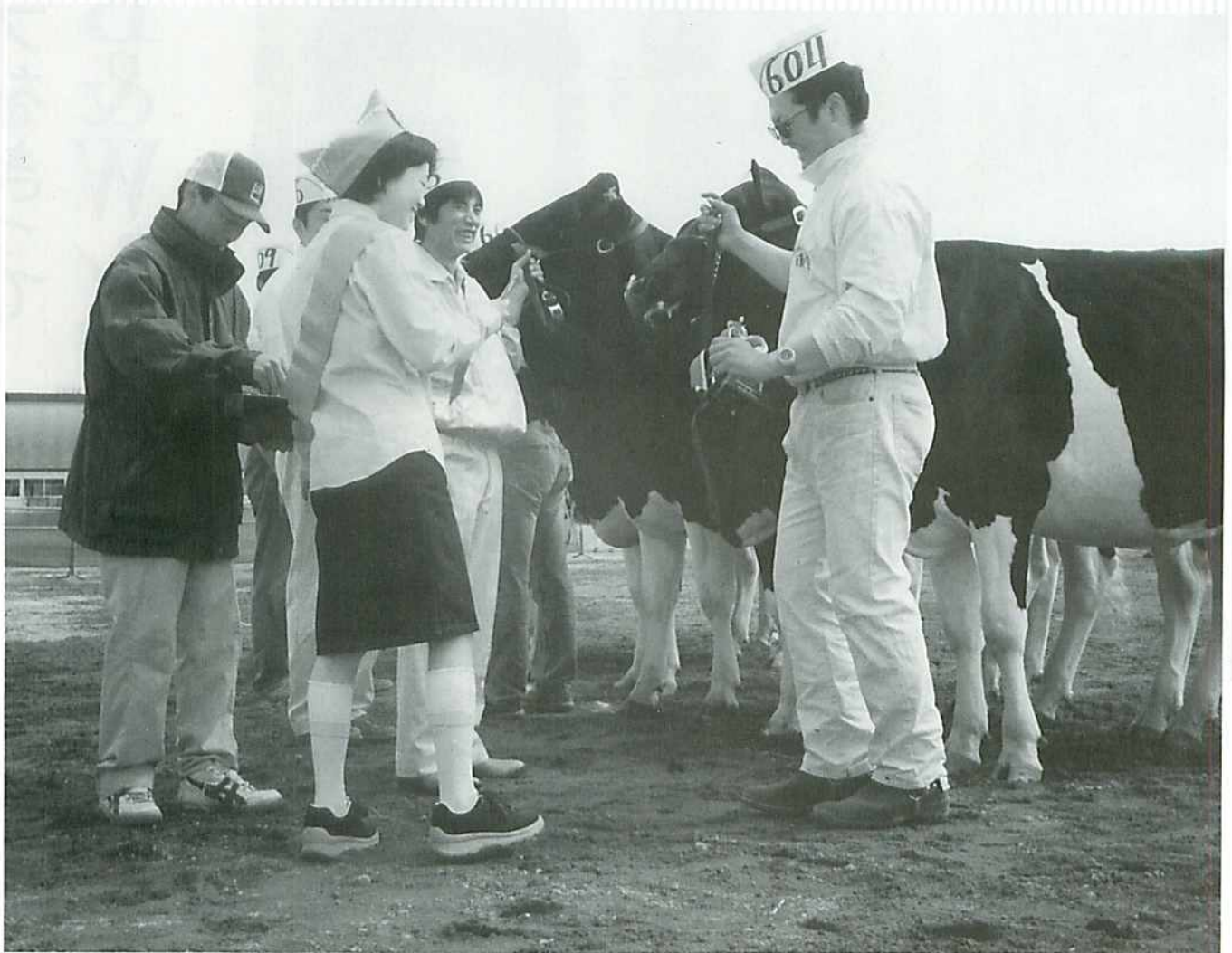


あなたとJAをおすすめ情報誌

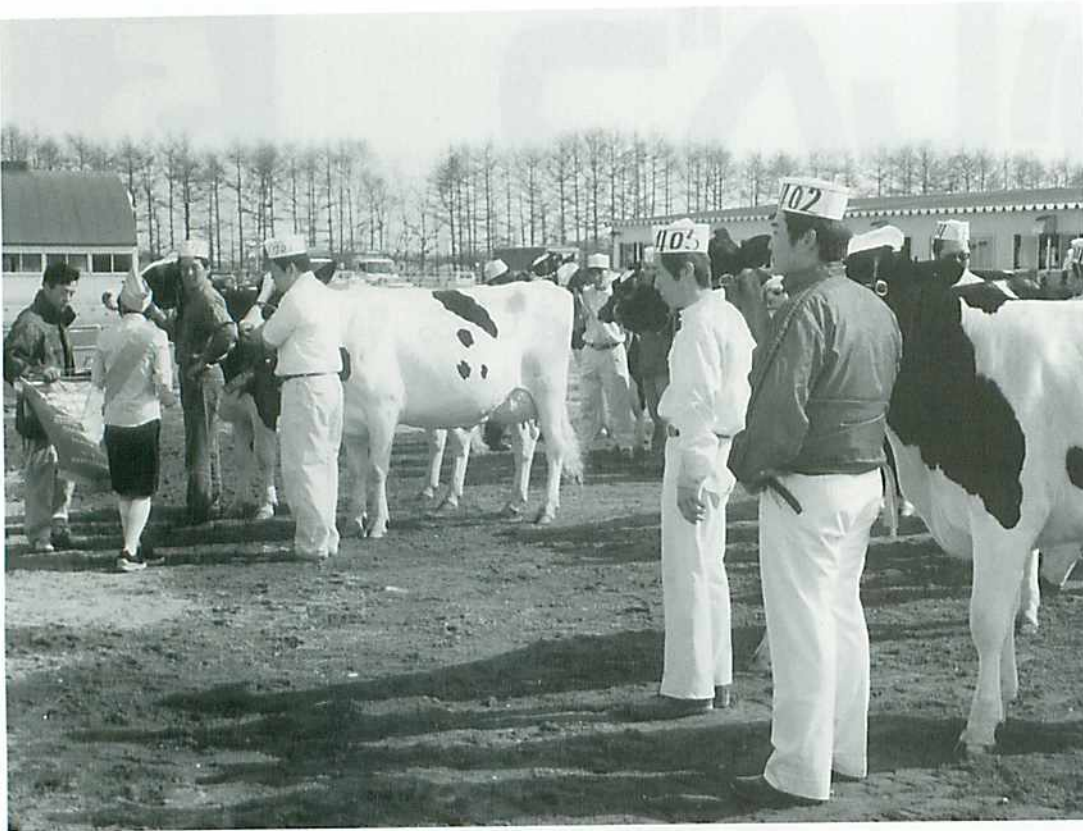
なかしべつ

2001
5月
No.317

中標津B & Wショウが開催されました。



管内のトップをきって 中標津B&Wシヨウが開催。



上位入賞牛は次の通りです。

グランドチャンピオン

ハッピーランド アンソニーミツキースギ号
福嶋 信博氏

シニアリザーブチャンピオン

エクセルシア エクスタシー エボニー ET号
久保 剛氏

ジュニアチャンピオン

アースイースト ゴールド チャリティー号
佐々木昭雄氏

ジュニアリザーブチャンピオン

ハッピーウッド ラス エース リーダー号
福嶋 寿顕氏

第1部 リステル CH ミランET

中川 将

第2部 アースイースト アスター ネット クレスト

佐々木昭雄

第3部 ガラント デリーズ エルトン

佐藤 洋之

第4部 アースイースト ゴールド チャリティ

佐々木昭雄

第5部 エクセルシア PV パッション

久保 剛

第6部 エクセルシア プリンセス デビー

久保 剛

第7部 ハッピーランド アンソニーミツキースギ

福嶋 信博

第8部 (BU) アースイースト アパッチ エラ

佐々木昭雄

第9部 (BU) アースイースト マックス アスター

佐々木宏之

中標津乳牛改良同志会主催の第四十回中標津ブラック&ホワイトシヨウが四月二十八日、ホクレン根室地区家畜市場にて管内のトップをきって開催されました。

今年は四十回記念となり、前夜祭では盛大なパーティーが催され、シヨウ前日の盛り上がりがありました。

当日、審査員には二瓶義則氏(計根別酪農家)があたり、九部門、四十九頭を的確に審査されました。また、デリークイーンには、当幌の奥田美晴さんがシヨウに花を添えました。



畜農技術

牛舎清掃の再点検を行ないましょう

北根室地区農業改良普及センター

本格的な農作業シーズンとなりま
した。同時に病原菌も増えやすい気
候ともいえます。

消毒槽の設置はもちろん、畜舎の
衛生管理・維持を目標に清掃・消毒
体系を見直しましょう。

昨年の口蹄疫発症は記憶に新しい
ところですが、「絶対に自分の家（地
域）には入れない」という、強い意
識を常を持つことが大切です。

① 菌数を減らす方法

大腸菌など一般的な細菌は、消毒
前の菌数に戻るのに約二週間、ブド
ウ球菌などの特殊な病原菌はもう少
し期間がかかります。また、サルモ
ネラ菌は、徹底消毒の後では牛や人
間が畜舎に持ち込まない限り、再汚
染されないことが知られています。

図一は、毎日消毒液を噴霧した事
例です。定期的な消毒がいかに効果
的かが良く解ります。

消毒は短期間に、定期的に繰り返
し行ないましょう。

施設内での消毒ポイントについて
触れます。消毒作業は、

・汚物の除去(掃除・洗浄)を行なう

・消毒薬の基準濃度を守る(表一)

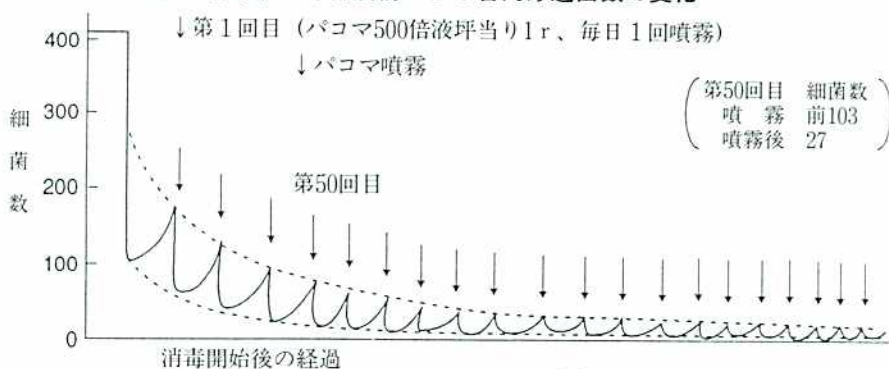
この二点が重要で、どちらが欠けて
も効果的な消毒になりません。

② 水槽などの清掃・消毒

ウォーターカップは、スポンジな
どで水を吸い取り、消毒薬で拭きま
しょう。

十日に一回程度を目安に行ないま
しょう。

図1 消毒液の毎日噴霧による舎内浮遊菌数の変化



(参考：千葉県東部家保の実験データ)

特に注意する部分は、汚れやすい
押しベラの裏・カップの裏・留め金
の上です。穴が無く清掃しやすい押
しベラが出回っていますので、交換
する際にはこのタイプを選択すると
良いでしょう。

水槽の場合には、底に飼料の残渣
が溜まりやすいので、水を抜いて消
毒薬で拭きましょう。

使用する頭数が多いので、三日に
一回は行ないましょう。

表1 主な消毒薬の希釈倍率

使用薬品	使用濃度(倍)	必要量(L)	薬剤所要量(g)	錠剤個数(個)
アンテック ビルコンS	500	10	20	
		50	100	
		100	200	
		500	1000	
クレンテ	500	10	20	
		50	100	
		100	200	
		500	1000	
スミクロー ル	165	10	61	3
		50	303	15
		100	606	30
		500	3030	152

根室家畜保健衛生所HPより抜粋

③ 飼槽の清掃・消毒

残飼を掃除し、消毒薬を噴霧しま
しょう。その後、スクレツパーなど
で拭き取ると乾燥が早くなります。

消毒は十日に一回が目安です。

また、飼槽前通路も実際には飼料
を置くことから、「事実上の飼槽」
と考え、飼槽と同じく衛生面に注意
しましょう。

損傷がある飼槽は掃除がしにくい
うえ、継ぎ目・割れ目・穴などで細
菌が増殖しやすくなります。このよ
うな状況では、機会をみて補修をし
た方が安全です。

牛舎内外を清掃・消毒しても「絶
対安全」とはいえません。予防は罹
患の可能性を最小に出来る手段です
ので、ぜひ継続して下さい。

乳牛とともに歩み、生活している仲間たち。

桜井 寿治

平成十三年三月十七日より、私たち中標津乳牛改良同志会（参加者六人）は、三泊四日の日程で、府県消流視察として九州の酪農郷・熊本県へ行って参りました。昨年も府県消流視察は、熊本県でお世話になったこともあり、久保剛会長ともすっかり顔なじみといった様子で、参加者一同和やかな雰囲気、今年も熊本の酪農家をはじめ、多くの九州で酪農や畜産に携わる方たちと親睦を深めることが出来ました。



視察一日目 熊本に着いて最初に私たちを迎えて下さったのは、熊本県乳牛改良同志会の衛藤さんと本田さんでした。

地元の郷土料理の馬刺に舌鼓を打ちつつ、熊本酪農の近況について話を伺いました。

暖かい気候に恵まれている熊本では、デントコーンが二回収穫出来るといえます。二期作用で百十五日品種を使用すれば、三月末から七月に一回、八月中旬から十一月十二月の間に一回と、収穫が可能だそうです。現在は主に青刈を食べさせているということでした。また、乾草は一年に四番までとれるというのだから驚きでした。しかし、土地面積が限られています。五、七畝の農家がほとんどで、そこへ飼養頭数分（平均して約九十〜百頭）の堆肥が播かれるので、土中の窒素が過剰となり、牛に障害が出ることも多いとのことでした。

また、草地面積を広くするにも、土地の値段が高く、北海道の十倍はするという話でした。ですから、土地は買わず、借りた方が得策で、また、乾草などの粗飼料は、輸入で手に入れた方が得策だとも言っておられました。

それから、熊本酪農において大変なのは、夏の暑さだと言っておりました。どこの酪農家でも、十台以上は牛舎に大型の換気扇があるとのことでした。暑さ対策の一つとして、牛舎内にスプリンクラーを設置して、牛の体を冷やす方法があるそうです。

が、床がびしょびしょになり、湿度で蒸し上がり、かえって逆効果になってしまったそうです。

ホルスタインは暑さに弱いので、夏の猛暑時期は乳量が減り、毎年悩まされている様子でした。熊本の夏の暑さ、とりわけ八月の暑さは、全国三位に記録が残るほどです。

視察二日目 第二十四回熊本県B&Wショーを視察。

会場の熊本県畜市場入口は、車両専用のゲートがあり、車がそこを通過しようとするとセンサーが反応して、左右の壁から消毒液が噴霧されるようになっていました。家畜の伝染病感染を危惧しての嚴重な配備に、参加者一同感心いたしました。私たちが会場に到着したのは午前九時半頃。会場より少し離れた場所にある畜舎では、出品する牛の最後の仕上げとして、毛刈りを行なう人たちの姿が目立ちました。

今回のショーの出場者は熊本県のみならず、九州各県からの参加者も多く、出場者の年齢層も幅広く、ベテランから島原農業高校といった若い人たちの姿も数多く見え、九州全体の乳牛に対する関心の高さがうかがえました。

熊本県のみならず、九州のホルスタインは、北海道のホルスタインに比べ、寿命が短いと言われています。やはり暑さによる体力の消耗が激しいからだと思います。ですから、九州の酪農家は、丈夫で長持ちする乳牛を求めて、乳牛の改良に熱心だということです。道内では初産のホルス

タインに、和牛の種付けをするのが一般化しておりますが、熊本では改良優先ということで、積極的に初産の牛にも、ホルスタインの種を付ける傾向にあるようです。

今回のシヨアの審査員は弾正原正さん。弾正原さんの評価の説明はとも分かりやすく、出場者たちの間でも好評でした。

視察三日目 阿蘇山の裾野で酪農を営む竹原牧場を視察。この牧場には、産地が中標津の乳牛がいるので追跡調査も行ないました。

ここ竹原牧場は、体験型観光牧場で、一般の人たちに乳搾り体験や、牛舎の中で牛に草を食べさせてあげられる事なども出来ます。その他にもポニーの乗馬が出来たり、かわいい動物たちと直にふれあう事も出来ます。竹原牧場には、珍しい動物たちがたくさんいます。ヤギにラマ、グチョウやクジャク、イノシシ、一番すごいと思ったのが、アメリカから輸入してきたというテキサスロングホーンでした。

牧場内にはレストランもあり、そこで竹原さんは私たちに、「まきば焼」なる肉料理をこちそうして下さいました。この「まきば焼」を発案したのは竹原さん本人。「阿蘇の赤牛」のブロック肉を串で貫き、テーブル上の炭火で焼きます。串をぐるぐる回し、表面全体がほどよく焼けたところで、串回しに隣接する鉄板の上で、お好みの厚さにナイフで切ってゆき、お好みの焼具合で焼いて食べるといいもの。手軽に牛の丸焼が、味わえ

ると言った感じでした。竹原さん曰く、「味付けは塩がいい」とのこと。しかも沖縄の天燃塩がいいと、おっしゃっております。

竹原さんにどうして観光牧場を始めたのか、聞いてみることにしました。竹原牧場は竹原さん本人が初代であり、酪農を始める前は水田農家だったそうです。酪農を始めるきっかけは？という質問に「サラリーマンに負けない仕事をしたい」と志し、二十三歳頃、宮崎へ一年間酪農実習に入ったそうです。酪農をするにあたって、大変だった事は何ですか？という質問に、「父親の説得に苦労した」とのこと。「酪農を始めるにしても、規模拡大するにも、先ず父親の許しが無かったら始められなかった」と、しみじみ語って下さいました。竹原さん本人、レストランの経営もあって、牛舎仕事はいそがしくないのかと気になりましたが、現在は三人のパートを雇い、搾乳牛九十頭を三回搾乳で行なっているという事でした。肝心の何故、観光牧場を始めたのですか？という質問に「酪農だけではダメだ。人とのふれあいも大切だ」と感じ、始めたそうです。それは竹原さんの夢でもあったそうです。

竹原さんは現在も現役の経営者。その他に、大阿蘇酪農組合代表理事、熊本県専門農協会長と、三つの長につく役職を持つ人物でもあります。この日、竹原牧場内のレストランで同席した東敏則さんも、熊本で



観光牧場を営んでおります。前日のB&Wシヨア終了後、食事をしたところが、東牧場内のパーベキューレストランでした。東さんは酪農二代目。父親が八代にある「松田農場」というところで、酪農を学んだといえます。父親の影響で「牛づくり・土づくり・草づくり」に専念するようになったそうです。恵庭で一年間実習した後、二十一歳の時、アメリカへ短期間実習に入ったといいます。

酪農をしていて辛いと思うことは何ですか？という質問に「時間に追われること」と答えてくれた東さん。そんな東さんが語ってくれた格言の一つに「三步以上は駆け足」という言葉がありました。納得出来る言葉だと思いました。

東さんが観光牧場を始めたのには、「販売なくして生産なし」という信念があったからだそうです。国の制

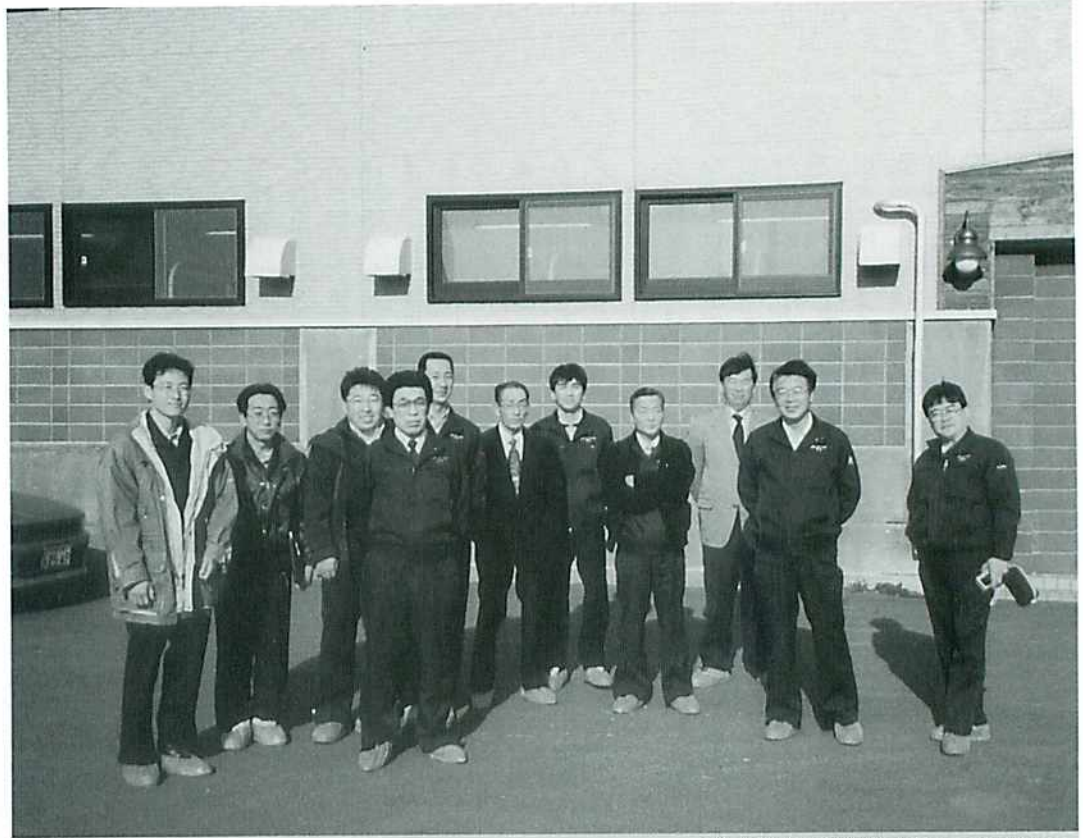
定する乳質規準に縛られず、消費者自身の目で、安全な牛乳かを確かめてもらいたいと東さんは言います。東さんの牧場内のレストランのメニューの中にも、自家製牛乳があります。「消費者に安心して飲んで頂ける牛乳づくり」を心掛けている東さん、観光牧場を始める当初は、家族に反対されたそうですが、そこはさすが九州男児、「俺についてこい」で始めたそうです。

現在は搾乳牛五十頭。現役の経営者の傍ら、熊本県酪農政治連盟副委員長、熊本県乳牛改良同志会会長、九州改良協議会会長と、こちらも三つの長の付く役職を務めている人物であります。

竹原牧場を後にした私たちは、険しい阿蘇の山並みを眺めつつ、名水の里「白川水源」へ向かいました。白川水源は透明度が高く、池底から砂を吹き上げ水が湧き出る様子が鮮明に見えます。毎分六十リットルの水が湧き出ているといわれています。水源の周囲は緑の樹木に覆われ、とても神秘的な光景でした。

視察四日目 視察最終日、熊本空港にて熊本県乳牛改良同志会のみなさんが、東京に向かう私たちを見送りに来て下さいました。短い間でしたが、とても充実した交流が出来たと思います。北と南、極端にかけ離れてはいますが、互いに乳牛と共に歩み、生活している仲間、同志なのだ、深く実感出来る旅でした。この度、熊本で出会えた多くの同志たちに感謝しつつ視察報告を終わります。

農業施設の 先進地視察研修報告



雪印種苗株式会社北海道研究農場バーラ室の前で

農協経営相談課では新しい農業施設への組合員対応を図るべく、近年農業施設で導入が始まったミルクロボット、バイオガス施設を主体とした視察研修を4月24日～26日、上村営農委員長、古澤理事、川村理事他職員7人の計11人で千歳市、恵庭市、札幌市の近郊酪農家及び研究機関の視察研修を行なってもらいました。

一行十一人は、中標津空港発午後一時二十分の飛行機で一路千歳空港へ。空港からは車で約四十五分程かかる第一の視察先である由仁町、三谷牧場へと向かいました。

三谷牧場

この農場では平成十年八月に搾乳ロボット（リレー社、アストロノート）を導入。六十ベットのフリーストール牛舎で、現在五十頭がロボットで搾乳されていました。私たちが視察している間にも数頭の牛が搾乳されたので、その状況を順を追って説明します。まず、牛が搾乳室に入ると、コンピューターにより搾乳する牛かを識別、搾乳すると判断されると餌が与えられ、（搾乳しないと判断した時には餌は出ず、退出ゲートが開く）超音波センサーで乳頭をキャッチしながら、柔らかな



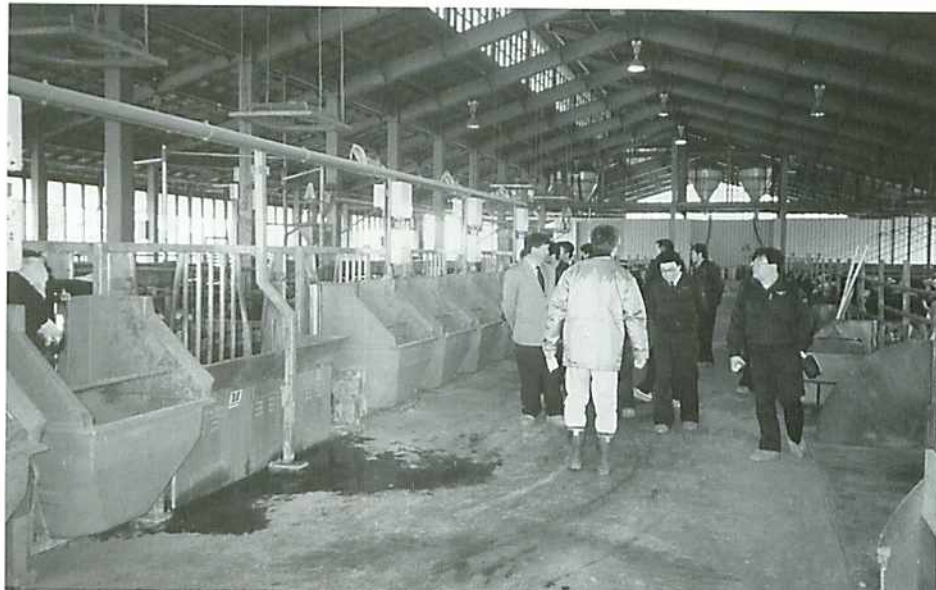
搾乳中も牛の動きをセンサーがキャッチしアームが前後に動く

ブラシで乳頭の洗浄が始まります。その後、四本のティートカップが、それぞれ一本ずつセンサーで乳頭をキャッチしながら装着していきます。二～三分すると乳の出なくなった順番に、ティートカップを個別に離脱していきます。最後のティートカップが離脱した後、乳頭へのティッピングが行なわれ、終了すると出口ゲートが開き牛を退出させ、入口ゲートが開き次の搾乳に備えるという仕組みです。搾られた牛乳はラインを通じて直接バルクの中へ入ります。ロボットは二十四時間搾乳対応されているため、牛乳集荷時の対応で予備の小さなバルクが設置されています。

視察時経営主にトラブルや問題点、投資効果などの話を聞きたかったのですが、仕事で不在のため聞く事が出来ませんでした。が、個体当たりの



三谷牧場の搾乳ロボット



雪印種苗の牛舎、左側の箱が1箱100万円するという試験用飼槽

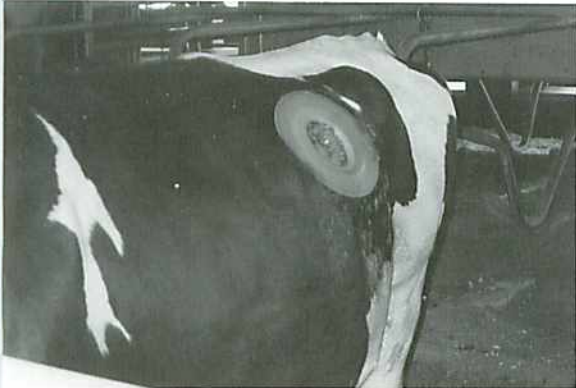
日乳量は平均で二十五リットル、細菌数約三千、ロボットの年間メンテナンス料百万円、その他七十万円くらいのコストがかかる。ロボットにトラブルが発生した場合には、ロボットから畜主に指令が入り、畜主の対応で困難な場合は、畜主から会社に連絡するようになっていきます。会社では二十四時間体制で待機し、一時間以内に現地対応することが出来ると、案内の方が説明してくれました。

次に、第二の視察場所であります長沼町の雪印種苗研究所へ向かいました。

雪印種苗(株)北海道研究農場

農場は昭和十九年、札幌郡白石村野津幌(当時)に、雪印乳業(株)の前身である興農公社の上野幌原種農場として発足、牧草・飼料作物の原種生産と新品種育成に着手。その後、昭和二十五年に雪印種苗(株)が独立するのに伴い、上野幌育種場と改名、昭和四十六年には札幌研究農場となり、五十四年に現在地へ移転、平成九年に試験用新牛舎が完成し、併せて北海道研究農場と改名し現在に至っています。

農地面積は四十四町で放牧地八町、採草地八町、サイレージ用トウモロコシ八町を作付け。見学当日も放牧が始まっており、八町の放牧地を十六牧区に分け、十一月まで放牧するとの事でした。



ルーメン試験で胃袋に穴を空けられた牛

乳牛は経産牛四十五頭、育成三十頭の他二十頭の肉牛が飼養され、内ルーメン試験で胃袋の内容物を取り出せる様に、胃袋に穴を空けられた八頭の牛がおりました。

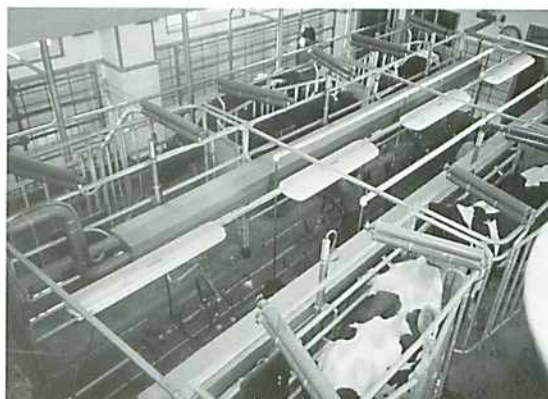
牛舎は五十八床のストールがあり、搾乳牛と乾乳牛を飼養し、反対側に十二房に分かれたルーズバーンで育成牛と肉牛を飼養。その中に、RICシステムというコンピュータの飼料摂取量が測定できる試験用飼槽十二機が装備されました。ちなみに一機百万円するそうです。

パーラーはウエストフアリア、三頭復列オートタンデムで、コンピュータ制御により随時搾乳のデータが入力され、体重、飼料摂取量のデータとリンクできるようになっています。

糞尿処理では寒冷地型堆肥発酵機キルン式「沃野」が開発され、大きな円筒型の筒が回転しながら、中に入っている堆肥をエアレーションし発酵を促進するもの。この機械で一週間発酵させ、出された堆肥は隣の下からエアレーションされる施設に移され、二度の切返して完熟堆肥に仕上げます。出来上がった堆肥は戻し敷料として利用する他、良質な有機質肥料として活用しているとの事でした。この施設で飼養されている全牛の堆肥が処理されています。

また、今回は特別に花卉施設も見学させてもらい、品種改良や紫外線による生育試験などが研究されてお

り、五月の母の日に向けたポットカーネーションの試験栽培など見せてもらう事が出来ました。初日の視察はここで終わり、宿泊先の千歳全日空ホテルへ。夕食では、視察で体験した施設の熱い討議が行なわれました。紙面の関係上、続きは次号に掲載させていただきます。



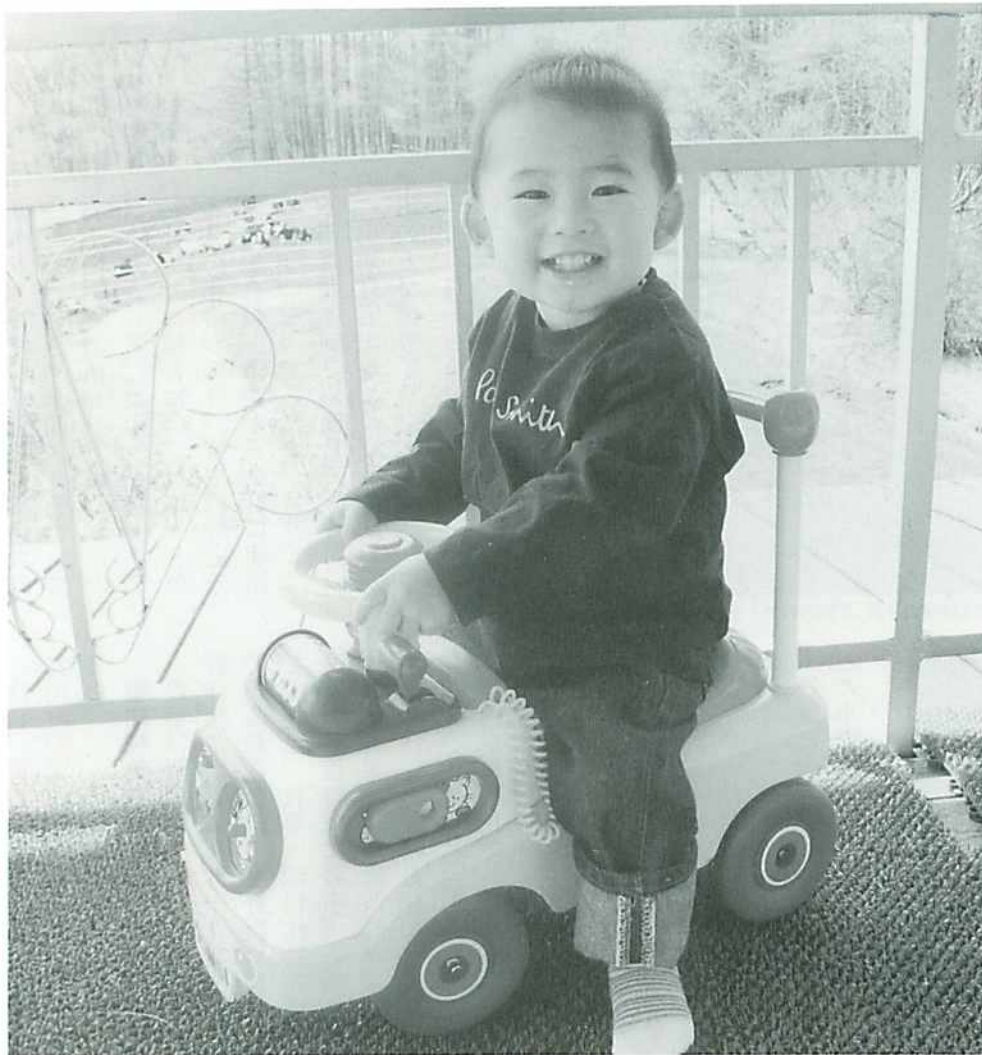
3頭復列、オートタンデムパーラーで搾乳中



堆肥発酵機「沃野」と隣が機械から出された堆肥で、下からエアレーションされている

ちやくんとお手伝いも できるんだよ!

豊岡地区 岡部達也・紀子さんご夫妻 長男 倅大くん(二歳七カ月)



こんにちは。新しく担当が変わりましたが、皆様のご協力を得て今後も「わが家の人気者」を、どんどん紹介していきますのでよろしくお願ひします。

さて、私的ながら初の取材で少々緊張気味の私を、元気一杯に迎えてくれた今月の人気者は、岡部さん宅の倅大くんです。

パパの達也さんとお誕生日も干支も一緒という倅大くんは、大のおじいちゃん、おばあちゃん子。一緒に甘いおやつを食べたり、お外で石投げをしたり、パパやママがいなくてもちゃんとお留守番するお利口さん。倅大くんの毎日は活発そのもの。そのせいか「これまで、ほとんど病気もしていないですよ」とママの紀子さん。この日も、外の鯉のぼりを見せてくれたり、しまじろうのビデオを観ながら踊ってみたり、大きなトラクターの乗り物にカッコ良く乗って遊んだり、元気ぶりを発揮していました。倅大くんのお気に入

りの場所は牛舎。パパとママがお仕事している間に眠くなったら、作業音を子守唄にお昼寝したり、「オーツ」て、叫びながら牛を呼んだり、ミルカーのスイッチを入れたり、ちやくんと牛舎のお手伝いもするんだって。まだ二歳にもなっていないのににえらいぞ!倅大くん。

そんな元気一杯の倅大くんに、パパやママは、「ただやさしいだけじゃなく、思いやりのある子になって欲しい」と願っているそうです。家族みんなの愛情を一杯受けて、倅大くん!すくすく大きくなあれ。

■わが家の
人気者

熟年会 春期研修旅行



楽しい会食のスタート



水牛車で島内観光

沖縄本島・ 石垣島の旅。

熟年会は、四月二十三日から二十七日まで沖縄・石垣島を四泊五日の日程で四十一人が参加し、春期研修旅行を楽しみました。

二十三日、晴天の中、午前十一時十五分、中標津空港を出発し羽田空港を経由して午後六時三十分、那覇空港に到着。翌日、朝食を済ませ午前八時三十分ホテルを出発し、約五百年にわたって琉球王国の城としてありつづけ、一九九二年に復元された首里城へ。その後、那覇空港から

亜熱帯の楽園・石垣島を観光し午後五時ホテル到着。

二十五日は石垣港から高速船で周囲九歳ほどの小さな島、竹富島へ入り、まぶしいほどに敷き詰められた真っ白な星砂の浜・コンドイビーチを楽しみ、赤瓦の屋根にサンゴの石垣やハイビスカス、ブーゲンビレアなどの花を水牛車でのんびり観光しました。

二十六日、石垣空港から那覇に戻り、沖縄戦の犠牲者となった二百余名を祀った、ひめゆりの塔や北霊の

碑を参拝しました。

二十七日、午前八時三十分ホテルの見送りに手を振り出発し、旧海軍司令部壕と伝統工芸館を見学したのち那覇を後にし、羽田空港を経由して午後五時四十五分、中標津空港へ楽しかった思い出と、たくさんのお土産をもって無事帰町しました。



畑作組織が結集し、課題解決にとりくんでいこう。

●第4回中標津町農協畑作対策協議会定期総会



平成十三年五月一日、中標津町農協大会議室において、中標津町農協畑作対策協議会第四回定期総会が開催されました。

高橋勝義会長の挨拶の後、農業改良普及センター長野所長、中標津町農林課渡辺課長から祝辞をいただき議長に西中の小林茂氏を選出し、議案審議に入りました。

事業計画の中でシスト線虫対策として、馬鈴しょ採種圃場に立入禁止の看板を、町と農協の名称を入れて作って欲しいと要望が出されました。また、鹿駆除対策について、パトリールを徹底して欲しい意見が出され、要請していく事としました。また、緑肥対策についても継続的に町などに要望して欲しい意見が出されました。

また、平成十四年度に向けた、組織活動の課題、畑作物生産の今後の課題など資料提供し今後、検討していく事としました。

以上、全議案原案通り承認されました。

最後に、高橋会長が閉会の挨拶で、



今年には畑作物の政策課題が多くあり、要請活動が活発になると予想され、会員の協力要請も出た時はお願いします。

播き付作業が始まりますが、安全作業で怪我のなく、豊穡の秋を迎える事が出来る事を願い、畑作組織が結集し、課題解決に取り組んで欲しいと閉会の言葉とし総会を終了しました。

を
会
強
勉
・
研
究
試
験
を
通
し、
よ
り
一
層
の
生
産
向
上
を
目
指
し
て

●第4回 生食・加工馬鈴しょ部会定期総会

平成十三年四月二十一日、中標津町農協生食・加工馬鈴しょ部会の第四回定期総会が、農協中会議室で開催されました。

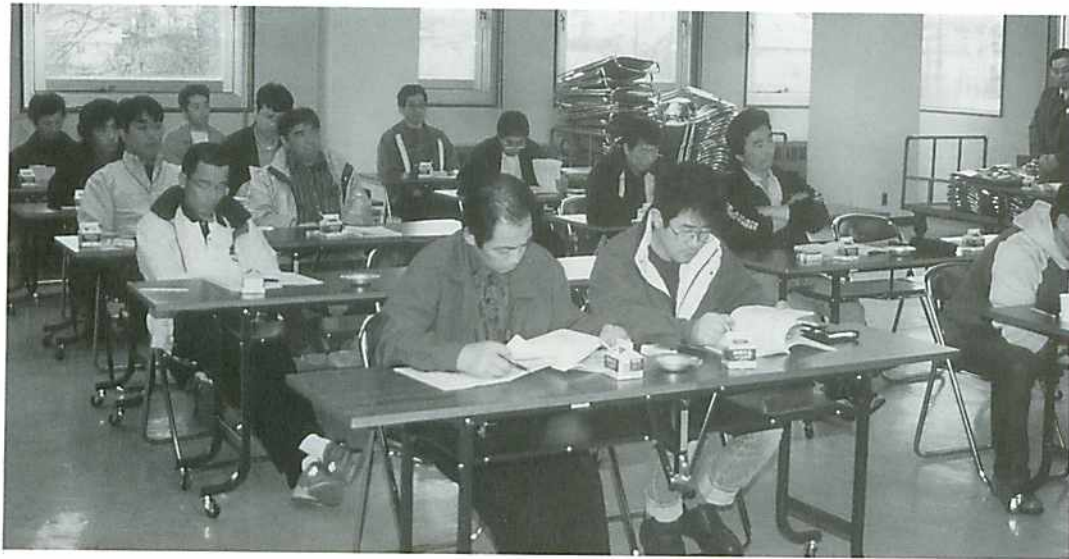
武田部会長の挨拶の後、普及センターの高橋主査に祝辞をいただき、議長に北武佐の田中世一氏を選出し、議案審議をし、提出議案全件が満場一致で承認されました。

新年度は、販売の強化として、伯爵まつり、あるるとの協力、販売PRの推進により地元販売の強化、また、インターネット販売の立ち上げをしていく事となりました。

今年度は試験研究、勉強会を通し、より一層の生産向上を目指し、会員の集結を図っていく事を確認し閉会しました。

ヘルパー要員一人増員し、六人体制に。

●第12回酪農ヘルパー利用組合通常総会



第十二回中標津町農協酪農ヘルパー利用組合通常総会が四月二十日、農協会議室で開催され、平成十二年度事業報告並びに収支決算報告、平成十三年度事業計画案など提出議案

全て原案通り承認されました。平成十二年度稼働実績は、延べ日数二、〇一〇日（通常対応一、三四〇・五日、特別対応二八五・五日、傷病対応二〇八・五日、青年ヘルパー一七五・五日）となり計画を上回る実績となりました。

また、「ヘルパー利用拡大推進事業」については、利用日数の増加などに応じ一日当たり定額の助成、「中

山間地域等直接支払い制度」については、年会費と利用料金の助成、「傷病時利用円滑化特別対策事業」については、長期的利用者に対し利用料金の助成をそれぞれ行ないました。

高品質と安定経営を目指して。

●なかしべつグリーンクラブ定期総会

平成十三年四月二十四日、なかしべつグリーンクラブ定期総会が、出席者十三人、委任状三人により、農協中会議室で開催されました。

西崎会長の挨拶の後、普及センター・長野所長に祝辞を頂き、議長に開陽の三輪哲郎氏を選出し、議案審議に入りました。

事業計画では、道内、道外の産地、取り引き先の視察、勉強会、講習会など原案通り可決されました。

今年度も、高品質な生産を目指して取り組んでいこうと閉会しました。

利用料金の改正

ファミ・エイ通常対応(7時間以内)

	現 行	改 正
1名対応	1日 13,500円 (外税)	1日 15,000円 (外税)
2名対応	1日 27,000円 (外税)	1日 30,000円 (外税)

活発な議論がかわされました。

●第53回青年部通常総会 青年部長 佐々木大輔



四月十七日、当青年部五十三回通常総会が行なわれました。

当初、私たち執行部としては、何事もなく無事総会が終了すると思っていました。今年例年になく激しい議論が交わされました。それは役員任期に伴う規約の改正についてですが、結局、本総会では承認頂けず、今年一年の課題と言う事になりました。今後、各支部におかれましても、この問題について話し合ってください、今年度中にしるべき答えを

出して行きたいと思っております。最後になりましたが、今年一年よろしく願います。

平成十三年度 役員

- | | |
|-------|-------|
| 部長 | 佐々木大輔 |
| 副部長 | 西垣 努 |
| 書記 | 鷺見 健 |
| 監事 | 福嶋 信博 |
| 理事 | 上ヶ島利春 |
| 寺嶋 淳一 | |
| 佐藤 洋之 | |
| 中川 将 | |
| 丹羽 隆司 | |
| 中本 信幸 | |
| 藤田 晋 | |
| 筒井 辰也 | |

部員一人ひとりの意識の向上。

●全道JA青年部定期総会・部長研修会 青年部長 佐々木大輔

去る四月三日、札幌きょうさいサロンにおいて、全道JA青年部定期総会及び部長研修会が開催され、私と西垣副部長が参加して来ました。

総会では本年度に行なわれる道青協の五十周年記念式典、祝賀会の参加、協力の説明などがあり、活発な意見交換が交わされました。また部長研修会では、「子供たちからのメッセージ」と題して、札幌市北陽小学校教諭・豊田泰弘氏の講演がありました。その中で今の小学校二年生の物事を考える姿勢や行動力の話を聞き、我々青年部はどうかと考える点が多々あり、部員一人ひとり、より一層の意識の向上が求められると感じました。



きれいな花で庭を一杯に。

●JA女性部「花の苗づくり」講習会

四月二十六日、農協大会議室に於いて「花の苗づくり」講習会が開催されました。

好評だった昨年に引き続きの開催で、生憎、当日の欠席者が多かったものの、十七人の部員が集まりました。

講師は部員の当幌地区・安田じゅん子さんと松田幸子さんにお願ひし、ピートバンを使った苗づくり方法を教えていただきました。今回は、参加者

それぞれが育てたい花の種を持ち寄っての講習会で、種によって違う管理方法・注意点などを、それぞれが詳しく教えていただきました。また、参加者の中で、移植・定植の時期にお互いの育てた苗を交換し合っただうかとの声も聞かれ、今年こそ！欲満々のようでした。

きれいな花で一杯の庭になる日が待ち遠しいですね。



きれいに花が咲くかしら



ピートバンで苗床を準備



気合い十分です！

「もつと勉強の場を」と活動に意欲的。

●フレッシュユミズの集い

四月二十七日、「フレッシュユミズの集い」が開催され、十四人の部員が参加しました。

午前は、部員間の親睦を深める目的でボーリング大会を開催。参加者は、心地良い汗を流す一方で、日頃のストレスを発散するかのようになり、トライクが続出。楽しみながらも予想以上のハイレベルなゲームとなりました。

午後からは、場所をレストランキ

ンコに移し、昼食をとりながら今年度の活動計画について話し合いがもたれました。助言者として出席して頂いた普及センター・奥泉普及員より、今年新たに組織付けられた若手経営者育成事業の一つである「カンパニーズ」の活動に、フレッシュユミズと合同の勉強会ができればと提案を頂きました。また、横田女性部長からも「フレッシュらしい活動を」と、ご助言頂き参加者一同、親睦だけでなく、もつと勉強の場を持ちたいと、今年の活動に意欲的でした。今年のフレッシュは、更に一新しそうです。

乳質改善共励会1位に輝く

個人では斉藤一美さん表彰



総会では議案を前に真剣な審議が行なわれました

第二十九回中標津町農協酪対開陽支部定期総会が、四月十四日開陽福祉会館で開催され、村井博之氏を議長に、提出された議案全件が原案通り承認、農協酪対で実施した乳質改善共励会で一位に輝いた事から、移動回転寿司バスをチャーターしてのお祝いが行なわれました。



乳質改善共励会で表彰される斉藤一美さん

総会では鈴木修支部長が「農協酪対での乳質改善共励会では会員戸々の毎日の努力の成果で、総合一位と輝かしい成績を収める事が出来ました。今年には口蹄疫の発生で例年行なっている乳牛共進会から牛魂祭への変更、七月中旬の大雨、天候不順で牧草収穫に大変苦労し、積雪も早く例年にならない寒い冬でしたが、開陽酪対の研修会、講習会、親睦会などの事業に会員が積極的に多数参加協力してくれました」とお礼を述べました。

地区で取り組む乳質改善共励会褒賞では斉藤一美氏が表彰、農協酪対での個人賞で斉藤一美氏、国見正則氏、井上芳行氏がそれぞれ表彰されました。

平成十三年度事業では、地区牛魂祭、各種研修会、講習会、乳質改善共励会、税金対策、農政運動参加など多

くの事業が計画され、特に乳質改善共励会では一位の座を降ろされる事なく、全会員が一丸となって乳質、環境整備に取り組み事となりました。

また、来賓として出席した地元理事・高橋勝義組合長、根室地区農業共済組合・泉山中標津支所長から、戸々の取り組みが地域全体の乳質改善、環境整備向上につながっている、今後もさらなる努力で頑張って戴きたいと挨拶されました。

総会終了後は酪農講習会が行なわれ、農協酪農課・共済組合から最近の乳質、環境整備の取り組み情報、家畜伝染病の情勢などの説明があり、参加者全員真剣に聞き入っていました。

その後はお楽しみの回転寿司昼食会が行なわれ、家族みんなが一年間の苦勞を癒す有意義な一日となりました。



今日は家族そろって寿司でお祝いです！

暮らしの

知恵袋

農作業事故ゼロを目指そう

北根室地区農業改良普及センター

農作業が本格的に始まりました。今月は農作業事故の実態を振り返りながら、事故防止について考えてみましょう。

一、交通事故死より多い 農作業による死亡事故

道内における農作業事故の発生件数は、死亡事故が三十件程度、負傷事故が二千四百件程度で、ここ数年は横ばいです。

死亡事故は農業就業者十万人当たり、二十人の割合で発生していることとなります。

一方、道内の死亡事故交通事故は、人口十万人当たり、約九人です。農作業による死亡事故のほうが死亡交通事故より発生件数が多いのです。

二、根室管内の事故発生率は 全道平均よりも低い

平成九年～十一年までの負傷事故の発生件数（三年間の合計を人口千人当たりにしたもの）を市町村別に見てみると、トップは浜頓別町の七八・三件です。次いで猿払村の六九・九件、標茶町の五九・二件となっています。

支庁別では根室管内の平均は一六・〇件で、全道平均の一八・九件より低い状況にあります。

表一は根室支庁管内一市四町の発生順位です（北海道農政部調）。

この順位は下位が望ましく、常に「農作業事故ゼロ」「ランクは最下位」を目指したいものです。

三、五十歳を過ぎたら 無理をしない

幸いにも農作業事故の発生が少ない地域ですが、油断は禁物です。根室管内の事故発生状況（平成十一年）は表二のとおりです。最近の農作業事故は負傷・死亡ともに「高齢化」しています。加齢とともに視力、筋力が低下します。本人はもちろんのこと、無理をしないよう周囲の人にも心配りをし、あげましょう。

表1 市町村別農作業事故の発生状況

順位	町村名	発生件数
14	根室市	36.9
73	標津町	19.8
107	別海町	13.6
114	中標津町	12.5
126	羅臼町	9.8

(平成9～11年度農業従事者1,000人当たり負傷事故発生件数)

表2 根室管内の農作業事故発生状況(平成11年) (単位:人)

死亡		負傷		合計		計
男	女	男	女	男	女	
1	1	53	25	54	26	80

※負傷事故の内、50歳以上の占める割合は、男性が46%、女性が52%という状況です。



スムーズに終わった除角作業。

俣落支部 藤田 晋



4月24日、俣落地区において春の除角作業を行ないました。

当日は、大変肌寒い中での作業かと思われましたが、昼頃には暖かくなり、作業し易くなりました。

今回の除角は、例年よりも頭数が少なかったためか、いつもより早く終わることができました。部員並びに地区の皆さん、大変ご苦勞様でした。また、連絡が遅れ、準備など地区の皆さまには、大変ご迷惑をお掛けいたしました。紙面をもちましてお詫びいたします。



新鮮な牛乳たっぷりの、ひと味ちがうおいしさのソフトクリーム。

ミルクの里オープン

5月3日、農協桜ヶ丘給油所横に「ミルクの里」がオープンしました。

今年も5月～9月中旬まで営業を予定し、ミルク、コーヒー、ミックスなどのソフトクリームが楽しめます。

また、5月3日から6日まで農協給油所で給油されたお客様へ、ソフトクリーム・アイスクリーム無料券をプレゼントする「ミルクの里オープンキャンペーン」が行なわれました。

今シーズンも地場産の乳製品などを多く取り揃えておりますので、是非ご来店下さい。



乳牛の見方、審査を学びました。

●乳牛審査講習会



中標津乳牛改良同志会主催による乳牛審査講習会が、4月22日ホクレン根室地区家畜市場にて会員、ジュニアホルスタインクラブ、関係者など約50人が参加し、乳牛の見方、審査について学びました。

講師には、15年連続全道共進会出品者の佐々木昭雄氏があたり、初めに乳牛の見方などの説明を受け、その後、ジャッジングが行なわれ、質疑応答も積極的に行なわれていました。閉会后焼肉を囲んで会員間の交流を行ない、春の一日を満喫いたしました。



今回、貴重な紙面の一部をお借りし、我々、コンピューター経営研究部会の宣伝をさせていただきます。

我が部会は、創立10数年（はっきりした年数は忘れた）経過し、農業にコンピューターを応用することを目的に設立されました。設立当時は数人でしたが、今では30人弱まで部員が増えました。今年の活動目標は初心者パソコン講座、農業簿記を応用し税金申告、インターネットを利用した農業情報収集、部会員の親睦（○泉でのコン○○オンと差しつ差されつ、部会長は特に親睦に予算を割きました）などを予定しています。今年は、勉強会も部会員に限定せず、組合員の皆さんも希望すれば参加できますので、興味のある方は見に来てください。そしてたくさんの方が部会に参加してくれるのをお待ちしております。

新入部員を募集しています。

●コンピューター経営研究部会 部会長 小川 征彦



第一回理事会の経過

開催日時 平成十三年四月二十日
開催場所 中標津町農協中会議室

〈決議事項〉

- 一、定款の一部変更について
- 二、役員選挙規程の一部変更について
- 三、信用事業規程の一部変更について
- 四、積立金管理要領の一部変更について
- 五、株式会社中標津町都市施設管理

公社（仮称）の設立発起人及び加入について

六、第五十四回通常総会の提出議案について

七、総会提出決算関係書類の監事への提出について

八、役員選挙公告日について

九、役員選挙に伴う選挙事務担当者の指名について

十、各種資金の借入申込みについて

十一、職制規程の改訂について

一、決算監査の日程について

〈報告事項〉

一、農家経営安定資金借換状況について

二、平成十三年度実労働時間調査組合員について

三、平成十二年度中山間地域等直接支払制度中標津地区集落決算状況について

4月の組合日誌

- 2日 職員歓送迎会
- 5日 棚卸精査
- 6日 集落小委員会
俵橋酪対三役会
融資協議
- 9日 酪対乳質向上委員会
- 10日 第1回女性部支部長会議
青色申告会役員会
青年部監査
- 11日 原種農場運営委員会
てんさい生産振興会
相談員会議
- 13日 中山間事業中標津地区集落監査
- 14日 ヘルパー利用組合監査
生食、加工馬鈴しょ部会
- 16日 根室地区乳質改善協議会
青年部総会準備
第1回運営委員会
第3回同志会役員会
- 17日 第53回青年部通常総会
第1回ヘルパー利用組合役員会
- 18日 第1回女性部三役会
だいこん部会講習会
酪農研修会
- 19日 グリーンクラブ役員会
- 20日 第1回理事会
第12回酪農ヘルパー利用組合通常総会
釧根農連役員会
- 21日 熟年会監査
農協酪対役員会
生食加工馬鈴しょ部会第40回定期総会
- 23日 決算監査～27日
- 24日 根室地方乳質改善協議会
グリーンクラブ定期総会
酪対消費拡大委員会
- 25日 パソコン部会
- 26日 基金協会
女性部花の苗作り講習会
中標津ジュニアホルスタインクラブ
第1回運営委員会
- 27日 3JA和牛振興会懇談会
酪対環境整備委員会
支庁打ち合わせ
- 28日 畑対役員会

3カ月予報

五月から七月までの天候（見通し）
三カ月平均気温は、平年並の可能性が大きく、その確率は五〇％です。
可能性の大きな天候見通し
五月 偏西風の流れはほぼ順調で、高気圧と低気圧が交互に通って天気は周期的に変わり、平年と同様に晴れの日が多い。気温は平年並だが寒暖の変動が大きく、晩霜の恐れがある。降水量は平年並。
六月 天気は概ね周期的に変わるが、後半を中心にオホーツク海高気圧の影響を受けやすく、ぐずつく時期がある。このため、天気は太平洋側やオホーツク海側を中心に平年と同様に晴れの日が少ない。
七月 天気は概ね周期的に変わるが、前半を中心にオホーツク海高気圧の影響を受けやすく、その後も気圧の谷の影響を受ける日がある。このため、天気は平年と同様に曇りや雨の日が多い。気温は平年並だが、前半を中心に一時低温となる可能性がある。降水量は平年並だが多め。
三カ月降水量は平年並でしよう。